

人生一毛作

大宮知信

1976年に開かれたモントリオール・オリンピックの元バスケットボール日本代表、桑田健秀(きよひで)さん(64)に日本外国特派員協会で会った。大きい。見上げるような190センチ。日本鋼管(現JFEスチール)に勤めながら選手生活を続けていたが、30歳で現役引退。いまは東京都大田区を拠点に、NPO法人「ピボットフット」の理事長として地域スポーツ振興に力を入れている。

「企業から地域にピボットフット(軸足)を移して、スポーツビジネスというかソーシャルビジネスの活動をしています。生まれは熊本県だが、親の仕事の関係で1歳の時に東京都大田区へ移り住んだ。以来大田区住まいだからほとんど東京人。会社では経理担当の社員として川崎の扇島製鉄所に勤務し、夕方5時まで仕事をして5時半から練習の日々を過ごした。その後、総務部に移って業務効率化や問題解決策を立案する仕事に携わり、49歳のときに退職。未来のオリンピック選手を地域で育てることや「トップアスリート」の引退後の仕事を創る」ことなどを目的に、2003年4月、地域総合スポーツクラブ「ピボットフット」を立ち上げた。「2年間は無収入」だったという。

元五輪選手 企業から地域に軸足、スポーツ振興に尽力

おのみや・ともぶのぶライオン。1948年、茨城県生まれ、中学卒業後、集団就職。週刊誌の編集者など二十数年にわたる。『平山郁夫の真実!』(新講社)、『死ぬのにはいかかるか?』(祥伝社)など著書多数。

スリートの引退後の仕事を創ることなどを目的に、2003年4月、地域総合スポーツクラブ「ピボットフット」を立ち上げた。「2年間は無収入」だったという。

会社員時代の経験が役に立っている。バスケット教室からスタートし現在、高齢者の体操から子供のダンス、大人のバレー、サッカーなど11種目、約40教室に拡大。年間160回のスポーツ教室を開催するようになった。まさに地域密着型のスポーツクラブだ。

人気があるのがチアリーディング。この教室だけで約200人の子供たちが在籍する。クラブの運営は生徒の月謝による収益だけで賄い、行政の助成金はなし。本物の技術を提供すれば事業として成り立つことを実感している。こうした活動ができるのも、大企業で社内全体を見渡す仕事をしてきた元サラリーマンの強みだろう。



チアリーディングの子供たちに囲まれて、満悦の桑田さん

「でも子供たちと一緒に走り回るのは楽しいですよ」選手時代は世界を相手に闘ったが、いまでは地域の人たちと一緒にスポーツを楽しむ日々。スポーツ振興とインフラ整備がライフワークだ。

【元五輪選手】企業から地域に軸足、スポーツ振興に尽力

1976年に開かれたモントリオール・オリンピックの元バスケットボール日本代表、桑田健秀(きよひで)さん(64)に日本外国特派員協会で会った。大きい。見上げるような190センチ。日本鋼管(現JFEスチール)に勤めながら選手生活を続けていたが、30歳で現役引退。いまは東京都大田区を拠点に、NPO法人「ピボットフット」の理事長として地域スポーツ振興に力を入れている。

「企業から地域にピボットフット(軸足)を移して、スポーツビジネスというかソーシャルビジネスの活動をしています。生まれは熊本県だが、親の仕事の関係で1歳の時に東京都大田区へ移り住んだ。以来大田区住まいだから、ほとんど東京人。会社では経理担当の社員として川崎の扇島製鉄所に勤務し夕方5時まで仕事をして5時半から練習の日々を過ごした。

その後、総務部に移って業務効率化や問題解決策を立案する仕事に携わり、49歳のときに退職。未来のオリンピック選手を地域で育てることや「トップアスリート」の引退後の仕事を創る」ことなどを目的に、2003年4月、地域総合スポーツクラブ「ピボットフット」を立ち上げた。「2年間は無収入」だったという。

会社員時代の経験が役に立っている。バスケット教室からスタートし現在、高齢者の体操から子供のダンス、大人のバレー、サッカーなど11種目、約40教室に拡大。年間160回のスポーツ教室を開催するようになった。まさに地域密着型のスポーツクラブだ。

人気があるのがチアリーディング。この教室だけで約200人の子供たちが在籍する。クラブの運営は生徒の月謝による収益だけで賄い、行政の助成金はなし。本物の技術を提供すれば事業として成り立つことを実感している。こうした活動ができるのも、大企業で社内全体を見渡す仕事をしてきた元サラリーマンに強みだろう。

現役引退後コートに出ることはないが、小中学校へ指導に行くと、どうしてもやらざるを得ない場合がある。「2時間ぐらいプレーすると3日間ぐらい後遺症が出る」そうだ。

「でも子供たちと一緒に走り回るのは楽しいですよ」選手時代は世界を相手に闘ったが、いまでは地域の人たちと一緒にスポーツを楽しむ日々。スポーツ振興とインフラ整備がライフワークだ。